

『庄内っこ日和』

令和3年11月9日
庄内こどもの杜幼稚園 教頭 岩崎巧

はじめに…

保護者の皆様いつも当幼稚園のまりのこっこにご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。
この『庄内っこ日和』は、令和元年度から掲示用として始めた、当幼稚園の園外保育での子ども達や先生の様子を、当学園の理念や方針と重ね合わせながら皆様にお伝えする"ドキュメンテーション"です。

晴れたよい天気という意味もある日和という言葉は、庄内っこの未来を明るく照らしています。
このお便りを通して、日々子ども達や先生の様子や当幼稚園の考えを少しでも知って頂けるきっかけとなれば幸いです。今回は、うさぎ組まりのこっこ（秋）の様子をお伝えしたいと思います。

今回のまりのこっこのねらい: 保育者や他児と一緒に自然と触れ合いながら、みかん狩りを楽しむ。

当幼稚園の「まりのこっこ」とは、「鎮守の杜(もり)の子ども(つまり当学園の子ども)」が、「森の子ども」になるという意味です。

能勢にある野外センターや、能勢の田畑や川、自然豊かな公園には、庄内にはない決して人工的に作り出す事の出来ない自然が溢れています。

そこで子どもは、平常保育時以上に五感をフル活用しながら、四季ごとに活動する経験をします。それが、情操豊かな人間になる大事な活動であると思っています。(庄内の保育の根っこp37参照)

庄内の保育の根っこ



秋は自然がいっぱい

みかん狩りの後は、自然物を探すネイチャービンゴや、自由あそびを楽しみました。
テントウムシやバッタ、カナヘビ(トカゲ)など沢山の生き物がいたり、ネイチャービンゴでは、「これ一緒や!」「ここにもある!」など、ビンゴの表の写真をしながら、実際の自然物と重ね合わせて見る姿がありました。

「一緒!」が理解出来るくらい、物の認知ができるようになる2歳児ならではの遊び方だったかと思います。

幼稚園にはない、秋の自然に沢山触れる事ができ、大満足のこどもたちでした。



まりのこっこうさぎ (秋)

山本農園でみかん狩り

みかん狩り楽しいな

今回のまりのこっこでは、茨木市の山本農園で、みかん狩りをしました。
先生やお父さん先生と一緒に、どのみかんを狩るか選びながら狩りました。
自分たちで採ったみかんを、1つ選んでその場で食べました。真剣な表情で少し固いみかんの皮を器用に自分たちで剥く姿がありました。
自分で採って、剥いて、食べる。が出来るのが、当園のまりのこっこです。



みかんば、先生やお父さんと